



▶【としょかんがくのごほうそく】

S.R. ランガナタン自筆

1958年12月14日

縦27.4cm 横24.4cm



❖ 図書館学の五法則

(The five laws of library science)

一、本は利用するためのものである。

(Books are for use.)

二、いずれの人にもすべて、その人の本を。

(Every reader his book.)

三、いずれの本にもすべて、その読者を。

(Every book its reader.)

四、読者の時間を節約せよ。  
(Save the time of the reader.)

五、図書館は成長する有機体である。

(A library is a growing organism.)

この法則は、インドの数学者・図書館学者の S. R. ランガナタン (一八九二—

一九七二) が一九三一年に発表したものである。

一九二四年、彼はマドラス大学の図書館長に選ばれ、同年図書館学を学ぶためイギリスに留学した。帰国後は、大学図書館の組織化と充実を図って様々な改革を行った。そして、図書館とは本来何なのか、人が生きてゆく上でどのような役割を果たすのかを考え続け、この法則をまとめあげた。

彼はインド図書館協会を

設立するなど、図書館学の進展に貢献。国外でも、大学や学会に招かれ、「五法則」をはじめ、自身が考案した「コロン分類法」について啓蒙活動を行った。

日本にも一九五八年十二月八日から十六日まで滞在し、多くの図書館を視察した。十三日に来県し、当夜は若江の家(天理大学創設者記念館)に宿泊。本館へは翌日訪れた。

掲出は、案内役を務めた仙田正雄教授(天理大学)の求めに応じて染筆されたものである。下部には三種の文字(ローマ字、ナーガリー文字、タミル文字)で署名が書かれている。

(天理図書館 内田真喜)

<天理図書館のお知らせ>

Tel 0743-63-9200 URL <https://www.tcl.gr.jp/>

◇平日(午前9時~午後5時半) 土・日・祝(午前9時~午後4時半)

○2月の休館日: 7日・9日~19日・21日・23日・26日・28日

(本欄にて紹介した名品の閲覧については係へお尋ねください)

※最新の情報については公式HP、Twitterでご確認ください。